

日本性科学会 ニュース

第16巻第1号

平成9年(1997年) 3月

発行人: 松本清一 印刷所: 絢文社

第26回 性治療研修会の予告

期 日	平成9年4月20日(日)		
場 所	日赤看護大学講堂(東京・渋谷)		
プログラム	射精障害の診断と治療	聖マリアンナ医科大学泌尿器科講師	矢島 通孝
	エイズ最新事情	千葉大学教育学部教授	武田 敏
	人間の性反応(男性)	聖マリアンナ医科大学泌尿器科客員教授	長田 尚夫
	〃 (女性)	平和学院看護学院校長	野末 源一
	精神疾患と性障害	あべメンタルクリニック院長	阿部 輝夫
	エイズ時代の避妊法	神奈川県立厚木病院泌尿器科医長	岩室 紳也
	ロールプレイング	親業訓練インストラクター 「建設的な生き方」指導者	小木 晴代

第17回 日本性科学学会の予告

第17回日本性科学学会総会ならびに学術講演会を下記の通り予定しております。奮って御参加下さいますように御案内申し上げます。

期 日	平成9年10月4日(土)・5日(日)
場 所	自治医科大学地域医療情報研修センター 栃木県河内郡南河内町薬師寺 3311-1 TEL 0285-44-2111 (代)
メインテーマ	性に関するカウンセリング
学 会 長	玉田 太朗(自治医科大学看護短期大学学長・自治医科大学産婦人科教授)

Vol. 16

No.
1

日本性科学会

〒107 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

誰にも言えなかった

B子さんは28才。1年前に結婚したが、夫の愛撫にある程度反応できても、痛くて挿入できなかった。診断名は、ワギニスムであった。解剖学的にはワギニスムスの患者の性器は正常である。しかし、ひとたび挿入が試みられると苦痛や恐怖から条件反射的に膣が痙攣、収縮して性交が出来なくなる。心理的には女性性の受け入れと関係していることが多い。

B子さんは夫との性交で気持ちが良くなることに罪悪感を感じていた。彼女の母親は「女はつらくて損ばかり」と愚痴ばかりこぼしていた。いつのまにかB子さんも「女に楽しいことはない」と思うようになっていた。性交で気持ちが良くなってはいけないと思う理由が、もうひとつあった。B子さんは小学校3年生の時、近所の若い男性に暴力的に性器をなめられた体験がある。B子さんはその心の傷を誰にも話さず、ずっと心の奥にしまい込んできた。彼女は、子供の頃に悪戯をされたから、今セックスが出来ないと思っていた。ワギニスムスの患者さん達にはこのような体験を話す人が多い。残念なことだが、程度の差こそあれ、子供の頃性的虐待を受けた経験のある女性は意外に多い。ただその時周り（特に母親）にその子の悔しさ悲しさを十分汲み取り、抱きしめてくれる人がいたら予後は大分違っていただろう。ワギニスムスの患者さん達の場合、その事を訴え、泣きついていける関係が周囲の大人との間にできていなかったことに問題がある。彼女達は、いつの日か、「襲われた自分がいけない」と思うようになる。

B子さんの祖母は、母とは対照的で、出かける時、お化粧をし、ネックレスをする人だった。B子さんは、母親には申し訳ないと思うが、祖母の方が好きだった。母親は、炬燵で談笑することはほとんどなかったが、祖母は炬燵で孫達にいつもおもしろい話を聞かせてくれた。祖母といると楽しかった。「母は女として私に言っちゃいけないことをいっぱい言ってきた」と語る一方、「母を嫌ってしまえば楽だけど、それができない」と、母親へのアンビバレントな気持ちが繰り返し語られた。

人は繰り返し気持ちを語ることによって、過去を受け入れ、癒されていくものであるらしい。やがてB子さんは、治療に通っていることを母に話す気になった。母親は「そうか、何年かかっても治せよ。お前が話してくれて嬉しいよ」と、言ったという。半年後、B子さんは、第一子を身ごもった。

大切にお世話される資格がない？

C子さん、B子さんと同じワギニスムスと診断された。結婚歴3年、27歳であった。彼女の夫もB子さんの夫と同様、治療にとても協力的な人であった。そして不幸なことに、彼女にも子供の頃性的虐待を受けた経験があった。それではC子さんとB子さんは何処が違っていたのだろうか。B子さんは、一度だけの出来事でも、その屈辱的な体験によって傷ついたことに、ずっと拘り続けてきた。C子さんもちろん傷つき拘り続けてきたからこそ、面接の中で何度も語っているのであるが、C子さんは、まるで性的虐待に吸い寄せられるかのように何度もいやな体験をしている。彼女は、小学校低学年の頃から、従兄に、繰り返し性器を触れられてきた。なのに、母親にきちんと訴えていない。それとなく訴えても雑な反応しか返ってこなかったから諦めたのである。C子さんは、そのほかにも、いとも簡単に性的被害を受けている。何故なのか……。「忌まわしいことであり、怒るべきことである」と答える私に、彼女は繰り返し「そんなことは女の子なら誰にでも一度や二度はあることでしょ？」と、確認を求める。C子さんは、傷ついた事実と向かい合えなかったのであった。

その謎が少し解けるような気がした。C子さんが20歳の時、盲腸炎で急に入院した時、あいにく女性部屋が満室だった。「一晩だけ個室にないますか」と言う看護婦さんに、母親は「男部屋で良いです」と、娘を男性患者ばかりの病室に残してさっさと帰ってしまった。もちろんC子さんはそのことで傷ついているから私に話したのである。しかし彼女は、自分を大事に世話してくれない母親に、怒りを向けるよりも、「この子なんて女の子として大事に守られる必要などない」と言う母親からのマイナスメッセージを受け取ってしまっていたのであった。

B子さんの母親もマイナス思考の人であった。ただ、B子さんには祖母がいた。母性は必ずしも母親から得られなくても良い。一方、C子さんの家は核家族であった。その上、両親は時々激しく喧嘩をし、父親は母親に暴力を振るっていた。その暴力は彼女に及ぶこともあった。

C子さんは治療の場からしばらく姿を消した。彼女の生い立ちを悲しむ治療者の思いが彼女の心に届き、彼女自身もそれを悲しみ始めたことに絶えられなくなったのか。私は、いつかC子さんが戻ってきて、傷ついた過去を整理し、新しい出発をしてくれることを願っていた。

C子さんは、1年ほどして、夫に付き添われてカウンセリング室に戻って来た。その間彼女は精神科の治療を受けていた。その事態の深刻さに気がついた母親が、娘を、しばらく実家に引き取りたいと言い、これから実家に帰るところであった。養生できたら又必ず戻ってくると約束してC子さんは帰った。

それから半年ほどして彼女は再び私の前に現れた。そこで、私は、彼女が実家で成し遂げてきた「死と再生」の奇跡を、畏敬の念を持って聞いたのであった。

論文紹介

Connections between primary vaginismus and procreation : some observations from clinical practice

原発性ワギニスムスと妊娠との関係：臨床例の検討より

J. J. Drenth, S. Andriessen, et al : Rutgersstichting groningen Department of
Obstetrics and Gynecology, University Hospital Groningen, Oostersingel 59,
9713 EZ Groningen, the Netherlands
J, Psychosom. Obstet. Gynecol. 17:195-201, 1996

要 約

従来のワギニスムスの文献は症例の綿密な研究が主で、数量的なデータは不十分である。又妊娠や産科的な見地からの報告は皆無と言ってよい。本論文ではこの二つの面が論じられる。一群のワギニスムス患者に対して、アンケート調査を行った。内容はワギニスムスの反応と、治療の目標、また治癒した場合の妊娠出産に関する事柄である。この結果によれば、挙児希望があることは未完成婚の治癒結果に悪い影響を及ぼさない。しかしまた別の見地から、寝室で行う人工受精は不妊のカップルの目的達成には有効な方法である。その結果、女性は性交を経験せずに妊娠することになる。この女性達にとって出産は、ワギニスムスの治療で性交できるようになり、その結果、妊娠した女性より困難というわけではない(介助分娩は多くはない)。出産の経験は、その後の性交の可能性には僅かしか貢献せず、性交できるようになる人はむしろ少数である。産科医は、重度の性交恐怖だった女性が出産できることが珍しくないということに注目すべきである。

解 説

著者の引用した文献によれば、妊娠を希望して治療したワギニスムスカップルは、性交を目的にしたカップルより治療が短時間で終了するが、長期的にみると逆戻りしてしまうケースも多い。またワ

ギニスムスを性機能障害としてみるか、不妊として治療するかは、本人に任されるべきだという考え方もある。筆者らはワギニスムスの治癒率が54%と低いことも含めて、カップルが自ら行う人工受精の有用性を認めているようである。性交恐怖があり性交経験無く妊娠しても出産できること、しかしその後も性交はできないこと、をデータより強調している。

解説者としては、性機能障害イコール人間関係の問題であり、これを克服せずには出産は可能であっても育児に問題を残すのではないかと言う大きな疑問が残る。しかし興味深いテーマであり、今後我々の間でも討論していきたい課題である。

(国立千葉病院 大 川 玲 子)

結果 1. 治療目標と達成率

治療目標	妊娠のみ 3	性交と妊娠 31	性交のみ 15
治療結果			
性交達成	0	20	5
性交未達成	0	11	10
性交による妊娠	0	15/20	0
人工受精妊娠	2	6/11 2/20(性交可)	0
未妊娠	1	5/11 3/20	15

結果 2. ワギニスムスの分娩、分娩後への影響

	性交妊娠 11	人工受精妊娠 9
分娩への悪い影響	2	3
分娩後の性への良い影響	3	3
分娩後の性への悪い影響	1	0

結果 3. 分娩様式(介助分娩)

	性交妊娠 14	人工受精妊娠 14
帝王切開	3	2
吸引分娩	3	2
鉗子分娩	—	1

「S.C」「S.T」資格認定制度の発足に向けて準備中

現在、S.C（セックスカウンセラー）とS.T（セックスセラピスト）の資格認定制度の規定づくりを幹事会ですすめています。4月の理事会で承認されれば、さっそくこの制度が施行されることになります。

S.C、S.Tとも申請するための条件があり、

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 会員歴5年以上 | 5. 性科の論文1～2編以上公表 |
| 2. 本学会出席3～5回以上出席 | 6. ケースレポート400字30枚程度 |
| 3. 本研修会に4回以上出席 | 7. 筆記試験と面接 |
| 4. 関連学会での発表が1～3回以上 | |

これらを満して認定され、登録証を交付されることになります。

しかし、この制度が発足して、2～3年間を過渡的措置期間として、次の条件を満たす者を資格者として認定することに決定されるだろうと思われます。

1. 本学会員歴5年以上
2. 研修会に4回以上出席し、修了証を受領している者
 - ただしS.Tの申請にあたっては、医師、薬剤師、臨床心理士、保健婦、助産婦、看護婦、PSW等いずれかの資格を有するか、これらと同程度の技能を有すると思われる者、という条件が加わります。
 - この過渡的措置の期間中は、筆記試験や面接試験は免除されます。

この制度についてのニュースは本紙および学会誌などでそのつどお知らせいたします。

「日本性科学連合」発足記念セミナー

昨年9月、社団法人日本家族計画協会、日本思春期学会、日本性科学会、日本性感染症学会、日本性機能学会、財団法人日本性教育協会の6団体は、日本性科学連合（JFS）を発足させました。

この度、それを記念してセミナーを開催することになりました。

参加ご希望の方は、往復ハガキで、下記宛にお申し込み下さい。

- メインテーマ 日本の性科学／現状と課題 ■参加費 3,000円（当日）
- 日 時 1997年3月29日（土）12時30分～17時 ■定 員 400名（定員になり次第締切）
- 会 場 カンダパンセ会館（水道橋駅 徒歩5分） 東京都千代田区西神田3-9-10 Tel：03-3265-6366
- ◇プログラム 12:00～12:30 受付

12:30～12:45 挨拶 松本清一会長 総合司会 波多野義郎

12:45～14:45 第1部 「学際領域から見た日本の性科学」

熊本悦明（日本性感染症学会常任理事）／高波萬佐治（日本性機能学会理事）／玉田太郎（日本思春期学会副理事長）／長池博子（社団法人日本家族計画協会理事）／野末源一（日本性科学会副会長）／間宮武（財団法人日本性教育協会常務理事）

15:00～16:50 第2部 シンポジウム「日本人の性はどこに行くのか」 司会 島崎継雄
 〈シンポジスト〉荒堀憲二（羽島市民病院）／宇野賀津子（ルイ・パスツール医学研究センター）／大川玲子（国立千葉病院）／北村邦夫（社団法人日本家族計画協会）

16:50～16:55 閉会挨拶 波多野義郎

◇申込先 日本性科学連合事務局K係 Tel：03-3288-5200 Fax：03-3288-5387

〒101 東京都千代田区神田神保町3-11-4 宝文館ビル6F NICS内 日本性科学連合事務局

症例検討会より 変更のお知らせ

3月27日休症例検討会では早乙女智子さんの報告を予定していましたが、4月20日の研修会で、ロールプレイの講師をしていただく、小木晴代先生にお願いすることになりました。クライアントからの言葉の引出し方、治療者の言葉の使い方など、ロールプレイのなかから勉強したいと計画しました。外部の講師をお願いするので、今回は有料となります。（会費は未定で人数にもよりますが、千～2千円くらい）